

平成元年記念

# 福祉のつどい

生きかえった秋の一日



平成元年を記念しての「横芝町福祉のつどい」が、10月15日横芝中学校を会場として行われました。

この催しは、永年社会に貢献されたお年寄りをはじめ、からだの不自由な人や母子家庭など、福祉に関係する人をお招きし、日頃の苦勞を忘れ、楽しい一日を過ごしていただくこと、町と社会福祉協議会が企画したものです。

開演にあたり、佐瀬町長から「今日は、芸能界の第一線で活躍されているみなさんに来ていただいています。すべてを忘れ、楽しく、ゆかいにお過ごしください。」とあいさつがありました。

このほか屋外では、はじめて見る蒸気機関車(ミニSL)に、子どもたちは興味津々。何度も乗ろうとするちびっこたちで、ごった返していました。一方大人は、石炭のにおいがかたつかしいのか、昔を思い浮かべているようでした。また、フワフワペンギンのおなかの中では、愉快な愉快な笑い声。とんととんで、体はまるで宇宙船。ラッキョーロープや輪投げなど、順番を待つ子どもたちの明るい声が終日秋空にこだましていました。

午後の部は、一般の人たちにも開放され、約2千人が、楽しい一日を過ごしました。



写真ですか、ポーズ!



もっと近くにきて!握手できるなんて最高



身ぶり手ぶりで笑いをさそって